

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 ナチュラルダンステアトル
公演団体名	ナチュラルダンステアトル

内容
<p>【基本的な感染症予防対策】 ソーシャルディスタンスを十分にとって、換気の良い状態でワークショップを行います。 ダンサーはマスクを着用し、子供たちと距離をとって、常設舞台上で指導を行いません。 感染拡大状況に応じて、学年毎での実施、延期、公演日当日の実施（※下記参照）、参加型のオンライン授業への対応もいたします。</p> <hr/> <p>『ペットボトルダンス』でダンサーとの体を使ったコミュニケーションを味わいながらあなたもエンターテイナー！ ペットボトルダンスワークショップの目的は、全校生徒に漏れなく体を使ったダンスの楽しみを獲得してもらうことです。その中で、大きくふたつの目的があります。 ◎舞台公演で子供たちに踊ってもらうダンス作品の習得。 ◎舞台公演に出演する児童・生徒のピックアップ。</p> <p>【具体的な流れ】</p> <ol style="list-style-type: none">1. ダンサーによるペットボトルダンスの実演と自己紹介2. ベルトコンペアー・ゲーム * ソーシャルディスタンスが保てないためこのゲームは中止いたします。3. まねっこゲーム <p>【その他】 映像撮影と演技指導（事業全体を振り返る記念映像を本公演の最後に上演するため） 共演するブラスバンド部（希望のある学校のみ）と共演部分の練習 * 要望がないので実施いたしません。 ★特別支援を必要とする児童・生徒、車椅子でも参加できます。</p> <hr/> <p>※事前ワークショップと本公演の同日開催の場合 実施例（1） 午前：ペットボトルダンス（ダンス『明日があるさ』） 午後：公演</p> <p>実施例（2） 公演の最後に客席に座ったまま参加できる「手振りダンスワークショップ（ダンス『明日があるさ』）を実施。ダンサーとコラボレーションを楽しんでもらいます。</p> <p>鑑賞だけにならないよう参加型の工夫に努めます。</p>

タイムスケジュール（標準）

9:00 学校到着

① 3時間目 1～2年生、② 4時間目 3～4年生、③ 5時間目 5～6年生

その前後、合間に演技指導と映像撮影

※生徒数によって実施枠数は異なります。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

講師 1名、補助者 4名

スタッフ 1名（舞台監督が会場調査・確認、測量のため同行します）

学校における事前指導

【ペットボトルダンスで児童・生徒 1人1人に用意してもらうもの】

◎ペットボトル 1本※500ml、タオル、水筒（熱中対策・水分補給用の飲み物）

◎500mlのペットボトルに、分量:3分の1の水を入れてください。

ワークショップの最中に水がこぼれないようにきちんと蓋を閉めること、ペットボトルは投げると危険です。各クラス担任の先生方は教室を出る前に「ペットボトルを投げない」ように、児童・生徒に注意を促してください。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 ナチュラルダンスアトル
公演団体名	ナチュラルダンスアトル

演目
タイトル : 『さーかす』公演時間 (60分) 構成・演出・振付 : 中村しんじ、振付 : 川野真子 初演 : 2005年 山口情報芸術センター
<p>【あらすじ】</p> <p>舞台は、一郎の目の前に突然巨大なテントが出現するところからはじまります。テントのなかから現れたのは、シルクハットをかぶったサーカスの団長、サーカス娘、ピエロのおじさん、華やかなサーカスの団員たち。一郎は、懐かしく人情深いサーカス団に次第に心惹かれていきます。主人公一郎が、奇想天外な人々と出会うことで成長を遂げる青春ストーリー。誰もがあっと驚く巨大なサーカステントの中で繰り広げられる個性溢れるキャラクターたちの人間味に溢れる演技と身体表現の素晴らしさが今作品の大きな魅力です。</p> <p>【基本的な感染症予防対策】</p> <p>舞台と客席との間に「飛沫防止シート」を設置する準備があります。 ダンサーは衣裳用のオリジナルマスクを着用して踊ります。 体育館の窓は開け、暗幕を完全に閉じないなど密閉状態にならない工夫をいたします。</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者 : 17名、スタッフ : 16名 計33名

タイムスケジュール (標準)
公演前日 : 放課後(16時位から)→機材の搬入と仕込み(約4~5時間) ※前公演校からの移動・到着次第の仕込開始となります。
公演当日 : 8:00 残作業・ウォームアップ 9:00 出演生徒とのリハーサル 11:00 「さーかす」上演 (約60分) 12:00 終演(給食前) →撤収・搬出 (2時間半~3時間) 15:00 次の学校へ移動 16:00 次の学校の機材の搬入と仕込み(約4~5時間)

実施校への協力依頼人員

当事業担当先生：仕込み、撤収の立ち合い、その他。

お手すきの先生：機材の搬入・客席（パイプイス等）設置のお手伝いをお願いします。

鑑賞時：各学年から先生各1～2名：生徒入場時の整列、着席のお手伝いをお願いします。（先生方の誘導があった方がスムーズです。）

演目解説

言葉を超越したダンス エンターテイメント「さーかす」の鑑賞ポイント

「さーかす」の舞台は、ダンサーの動きはもちろんですが、大掛かりな動く装置や子供たちが思わず声をあげる照明効果など、動きの多様性を通して公演観賞に対する子供たちの集中力を高めます。低学年の児童生徒にも「さーかす」の世界観を十分に楽しんでもらえるでしょう！

Point 1 ダンサー

主人公の「一郎」は、クラシックバレエ・ブロードウェイミュージカル・TV CM までの幅広い分野で活躍する新進気鋭のダンサーを抜擢。トップレベルのダンサーによる優れた身体表現と豊かな表現力。

Point2 舞台美術

自分の学校の体育館に巨大テントが出現！それが目の前でクラゲのように上空を舞う!?子供たちが思わず わっ！と声をあげる 大掛かりな仕掛けで動く装置(美術:宇野萬)や特殊な照明効果など、この作品でしか見られない圧倒的な空間表現の美しさ。

Point 3 音楽性

「さーかす」の舞台で流れる昭和のノスタルジックな音楽と日本語の歌詞を聴きながら子供たちは物語の時代背景や主人公の気持ちをより深く知ることができるでしょう。世界中で愛されている元気なサーカスマーチなど、親しみのある音楽性。

Point 4 物語

「さーかす」の舞台では、個性豊かな登場人物の気持ちに寄り添って子供たちに物語を楽しんでもらいます。子供たちには、「言葉を使わないのに物語がわかる!」自分自身の驚きと手応えを通して「体で表現する素晴らしさ」を自分のものにしてもらえるでしょう。

主人公の一郎は、毎日をぼんやり過ごしていました。

そんな、一郎の目の前に、巨大なテントが出現します。そこに現れたのは、

サーカスの団長、ピエロのフジオさん、美しいサーカス娘の幸子、

サーカスの団員たち。みんな、過去からやってきた人たちなのです!

そんな不思議なサーカス団たちと一緒に過ごすうち

一郎の心にある変化が起こります。それはどんな変化だったのでしょうか?

時を超えてやってきたサーカス団のメッセージとは?

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ナチュラルダンスシアターの公演は、とことん体験派！

- ・あなたもエンターテイナー！ ワークショップで覚えたペットボトルダンスで子供たちに主役になって踊ってもらいます。
- ・公演に出演する児童生徒には、開演前にダンサーとのリハーサルに参加してもらいます。プロのダンサーとスタッフに囲まれて本格的な舞台空間で、やる気アップ！
- ・友だちや自分たちの学校を客観的に見られる映像を流します。

【基本的な感染症防止対策】

舞台上でも密にならないようソーシャルディスタンスを保って参加してもらいます。
その他、今後新型コロナウイルスの感染状況により子供の出演を辞退される学校への対応策として、事前ワークショップの際に撮影した子供たちのダンス映像を公演の最後に流します。(映像出演)

児童生徒とのふれあい

舞台裏見学(バックヤード体験)は、ソーシャルディスタンスが保てないため行いません。
基本的に、飛沫防止シートを境にダンサーと子供たちが接触することはありません。